

報告者略歴

(発表順)

藤本隆宏（ふじもと たかひろ）

東京大学大学院経済学研究科教授



1979年東京大学経済学部卒業。三菱総合研究所を経て、89年ハーバード大学ビジネススクール博士号取得。同大学研究員を経て、現在、東京大学大学院経済学研究科教授兼ものづくり経営研究センター長、ハーバード大学ビジネススクール上級研究員。専攻は、技術管理論・生産管理論・経営管理論。

主著に、*Product Development Performance*, Harvard Business School Press（共著、1991年、日経・経済図書文化賞受賞、邦訳『製品開発力』ダイヤモンド社、1993年）、『生産システムの進化論』（有斐閣、1997年）、*The Evolution of a Manufacturing System of Toyota*, Oxford University Press（1999年、恩賜賞・日本学士院賞受賞）、『成功する製品開発』（共著、有斐閣、2000年）、『マネジメント・テキスト 生産マネジメント入門』全2巻（日本経済新聞社、2001年）、『能力構築競争』（中公新書、2003年）、『日本のもの造り哲学』（日本経済新聞社、2004年）、『中国製造業のアーキテクチャ分析』（共著、東洋経済新報社、2005年）ほか。

大野健一（おおの けんいち）

政策研究大学院大学教授



1981年一橋大学経済学部卒業、1983年一橋大学経済研究科修士課程修了、1987年スタンフォード大学経済学博士号取得。国際通貨基金調査局、中東局エコノミスト、筑波大学社会工学系助教授を経て1996年より埼玉大学大学院政策科学研究科教授、1997年より現職。

主著に、『国際通貨体制と経済安定』（東京経済新報社、1991年、毎日新聞社エコノミスト賞受賞）、『IMFと世界銀行』（共著、日本評論社、1993年）、『市場移行戦略』（有斐閣、1996年、アジア太平洋賞・特別賞受賞）、『東アジアの開発経済学』（共著、日本経済新聞社、1997年）、『途上国のグローバルイノベーション』（東洋経済新報社、2000年、サントリー学芸賞・大湯次郎論壇賞受賞）、*Japanese Views on Economic Development*, Routledge（共著、

2003年)、『ベトナムの工業化戦略』(共著、日本評論社、2003年)、『途上国ニッポンの歩み』(有斐閣、2005年)ほか。

天野倫文 (あまの ともふみ)

法政大学経営学部助教授



1996年一橋大学卒業、2001年同大学大学院博士課程修了、商学博士号取得。東洋大学講師を経て、2004年より法政大学助教授。東京大学ものづくり経営研究センター(MMRC)研究員を併任。1994~95年カリフォルニア大学バークレイ校留学。専門は経営戦略論、国際経営論、海外直接投資論。直接投資の経済分析を進める一方で、東アジアを中心に多くのフィールド調査をおこない、日本企業のグローバル戦略について研究。

主著に、『現地化する中国進出日本企業』(共著、2002年)、『対日直接投資と日本経済』(共著、日本経済新聞社、2004年、NIRA大来政策研究賞受賞)、『東アジアの国際分業と日本企業：新たな企業成長への展望』(有斐閣、2005年、大平正芳記念賞受賞)ほか。

大塚啓二郎 (おおつか けいじろう)

政策研究大学院大学教授



1971年北海道大学農学部農業経済学科卒業後、東京都立大学大学院入学。1974年よりシカゴ大学大学院に留学し、1979年に同大学より経済学博士号取得。エール大学ポストドクトラルフェロー、東京都立大学経済学部教授を経て、2001年より財団法人国際開発高等教育機構(FASID)主任研究員および政策研究大学院大学教授。現在はFASID大学院プログラムディレクター、国際稲研究所(IRRI)理事長、国際農業経済学会次期会長を兼任。

主著に、『*Industrial Reform in China*, Clarendon Press (共著、1998年)、『消えゆく森の再生学』(講談社、1999年)、『*Land Tenure and Natural Resource Management*, Johns Hopkins University Press (共著、2001年)、『教育と経済発展』(共著、東洋経済新報社、2003年、NIRA大来政策研究賞受賞)、『産業発展のルーツと戦略』(共著、知泉書館、2004年、日経・経済図書文化賞受賞)ほか。

園部哲史（そのべ てつし）

政策研究大学院大学教授



1984年東京大学経済学部卒業後、同大学大学院に入学、1987年よりエール大学大学院に留学し、1992年に同大学より経済学博士号取得。東京都立大学経済学部教授、アジア開発銀行客員研究員、フィリピン大学ディリマン校経済学研究科客員研究員を経て、2003年より財団法人国際開発高等教育機構主任研究員および政策研究大学院大学教授。

共著に、“From Inferior to Superior Products: An Inquiry into the Wenzhou Model of Industrial Development in China,” *Journal of Comparative Economics* (2004年)、『産業発展のルーツと戦略』（知泉書館、2004年、日経・経済図書文化賞受賞）、『市場と経済発展』（東洋経済新報社、2006年）ほか。